

たかお治久 後援会 会報 No.23

■発行日／平成29年10月 ■編集発行／鷹尾治久後援会 ■後援会連絡所／カネカ労組高砂支部内

いつも大変お世話になっております。
高砂市議会議員のたかお治久です。
今回の会報では高砂市に住む人や働く人等がこの街を「安全・安心かつ快適と感じる為にどうあるべきか」について、私の考え、現在の高砂市の置かれている状況等を中心にご報告させていただきます。



是非一度ご覧下さい。

ブログへアクセス!

ブログ

「たかお治久の活動報告」



<http://blog.goo.ne.jp/takao2233>

「安全・安心かつ快適」な街の為に、今自分にできること

横断歩道に人（自転車）が待っている場合、

「横断歩道、止まって、譲る」



みんなでやりませんか？

私の主張



「高砂市は運転マナーが良く、歩行者・自転車にとっても非常に快適な街である」と言われれば市民にとっても誇りとなると思います。誰もが願う「安全・安心な街」の為に、議員として、道路の在り方や交通安全対策の要望をするだけではなく、この為に自分達（運転する側）に出来ることを考えての提案です。

道路交通法（第38条）において定められているこの行動も日々の中ではおろそかにしがちな現実があり、「横断歩道、止まって、譲る」を是非みんなで「当たり前」の行動にしたいと思っています。

1. 一般質問報告（質疑抜粋）

質問

①

(提案)

『官民連携による健康増進』を提案

Q 人生は『健康が第一』。そして毎年増加傾向にある国民健康保険医療費（以下国保医療費）。健康増進、医療費削減という両課題に有効な「官民連携による健康増進」の導入に向け研究・検討してはどうか。

A 医療費削減の有効性も確認されている。様々な事例を検証し研究を進めたい。

私の主張

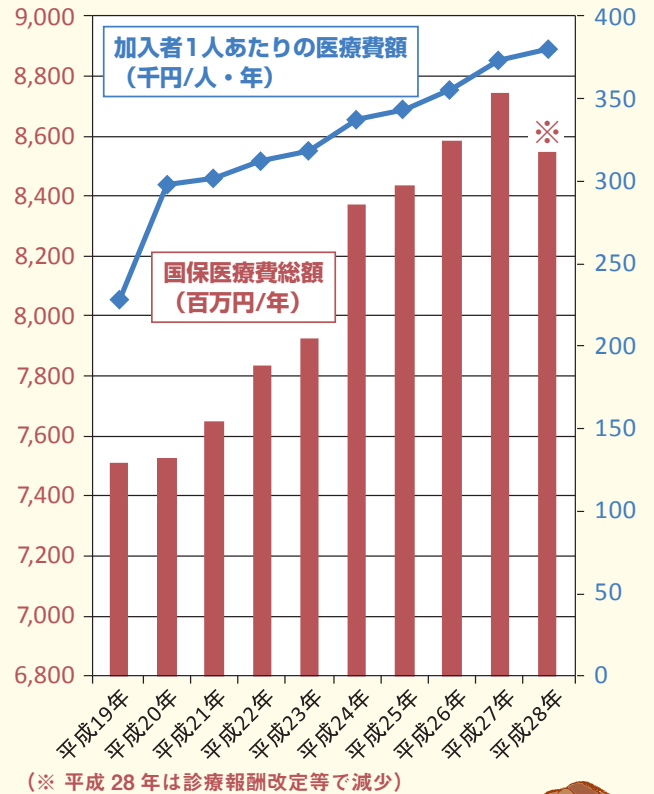


「健康か否かは個人の問題、行政が策を講じるものではない」というのは大きな間違いです。国民健康保険の加入者が負担する保険料は、国保医療費と相関である上、資金が不足した場合には一般会計からも負担を強いられます。結果、行政サービスにも影響を与えることになりかねません。

この分野では既に民間企業がこの課題を解決すべくITやビッグデータを活用し、様々な研究・取組みが行われ成果が報告されています。

今回私はこの様な民間の知恵を高砂市に導入してはどうかとの提案で、健康になる市民と財政健全化に寄与するという意味で市民と市（財政）にとってWIN-WINとなる提案であると思っています。

高砂市の国保医療費（総額）と加入者1人あたりの額 推移



市民の負担を減らす為に、また皆さんに健康になって頂く為に、成果の出ている民間の知恵を借りてはどうでしょう！



質問

②

高砂市野球場の存続、改修の判断はいつされるのか？

Q 市長が認識する『公共施設等総合管理計画』（施設の床面積削減計画：20年後に15%、40年後に30%等）の必要性と実施に向けた決意を伺いたい。

A 厳しい財政状況が続く中、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要。2036年までに総床面積を15%縮減するという目標を立てた。財源的に現行の全ての施設を維持、更新できないことから算出した縮減割合で、**定めた縮減目標を達成できるよう取り組んでいく。**

Q 施設の削減（案）が具体的に市民に公開されるのはいつ頃か？

A 個別計画庁内案を本年度中に策定。来年度からは、これをたたき台として、市民や各種団体の方などと協議を行い、**平成32年度（2020年）** までには、施設全体の方向性を明確にした個別計画を策定したい。

Q 高砂市野球場が存続できるのか否か、また大型改修をするとしたらいつ頃なのか。

A 野球場に限らず、個別計画の中で検討中。
(即ち平成32年度(2020年)までに決定)



私の主張



『公共施設等総合管理計画』では今後20年で公共施設の総床面積を15%削減し40年先には更に15%、合計30%の削減計画を立てています。

そしてこの計画について市民の反応は総論賛成各論反対。即ち施設削減について賛成は出来るが自分に恩恵のある施設(例えば校区内の学校や公民館等)の削減には反対というご意見が一般的です。

その為具体的実施段階に入ると相当強い抵抗も予想されることから**具体的時期を明確に答弁頂き、計画が後退しないことを願っての質問でした。**今回の答弁では具体的時期が明言され、今後はこのスケジュールに遅れることなく着実に進む様にチェックしていきたいと思えます。

質問

3

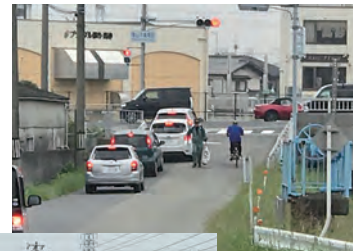
高砂市の交通安全対策について

Q 「竜山橋と明姫幹線、今市・生石準幹線道路周辺の改善については、市独自で出来る対策を講じる意思があるのか伺いたい。

A 河川管理者である県との協議が必要であり、兵庫県と協議を継続しているが結論には至っていない。
(この場所を取り上げた一般質問は3度目ですが今回においても同じ答弁しか得られませんでした。引き続き粘り強く改善を求めていきたいと思えます。)

Q 市内には他にも幾つも地元自治会から「何とか対策を施して欲しい」と要望されている所があると思うが、そちらについては事故が起こるまで対策は施さないのか。期限を決めて、何か一つでも良いので、現場に新たな対策、改善を施すべきではないか。

A 自治会からの要望については、要望を受けてすぐ現地確認をし、関係者等と協議の上、実現可能なことについてはできるだけ早急に対策をしている。ただ、関係者等の協議がまとまらず、いまだ実現できていない箇所もあるが、引き続き危険箇所解消に向け努力していく。



▲通勤時間帯の竜山橋上

▲法華山谷川左岸
通勤時間帯の
一コマ



▲松波交差点通勤者たち

私の主張



『第10次高砂市交通安全計画』。この計画の中には「人優先」が基本理念と謳われているにも関わらず、道路状況においては「本当にこの理念にこだわった仕様なのか？」と疑いたくなる現場が幾つもある様に思えます。製造メーカーであれば現場で危険箇所と認識すれば必ず何らかの手を施します。それが安全第一の考えであり、優先事項でもあるからです。市職員さんにとっての現場は市内全域、その中で特に地元から「あそこは危険、なんとかして下さい」と要望のあった箇所は優先されるべき場所でもあるし実際に小さな改善でも良いので何らかの対策を施すことが重要と考えての要望です。

2. 高砂市議会（改選）

高砂市議会では例年通り9月議会にて議長・副議長はじめ所属委員会等の改選を行った結果、各議員の所属は以下の通りになりました。

●議長 ●入江正人 ●副議長 ●福元 昇 ●監査 ●川端宏明

常任委員会委員

◎委員長 ○副委員長

総務	◎森 秀樹 今竹大祐	○鷹尾治久 入江正人	横山義夫 大塚好子
文教厚生	◎迫川高行 鈴木利信 坂辺勝彦	○石崎 徹 北畑徹也	井奥雅樹 川端宏明
建設環境経済	◎藤森 誠 北野誠一郎	○島津明香 福元 昇	砂川辰義 池本 晃

各種委員会委員

議会運営委員会	◎今竹大祐 川端宏明 大塚好子	○迫川高行 横山義夫	北野誠一郎 島津明香
広域ごみ処理施設対策 特別委員会	◎砂川辰義 北畑徹也 坂辺勝彦	○石崎 徹 藤森 誠	鈴木利信 福元 昇
決算特別委員会	○鷹尾治久 藤森 誠	○横山義夫 池本 晃	砂川辰義 大塚好子

私は上記の通り総務常任委員会（副委員長）及び決算特別委員会（委員長）に所属することになりました。議会以外では社会教育委員会にも所属することをご報告させていただきます。

3. 山電立体交差事業検討について

既に『広報たかさご』にて知らされている通り、高砂市は今後2年間をかけて山陽電鉄の一部区間について立体交差（線路の高架）を検討します。

本件に対する現在の私の視点は多大な市税を投入する価値の検証と他事業への影響度合いです。

当事業（推定総事業費約350億円）は兵庫県（事業主体）からの打診を受けての検討で、現段階の見込みでも高砂市の財政負担は80～90億円となります。更に周辺環境整備には追加予算が伴うことになり、他事業への影響は避けられません。一方で今回この打診を受けなければ山電高架化の機会は未来永劫無くなると考えざるを得ず、2年間の検証期間の中で、自分なりにも考えを整理したいと思います。

本件に関わらず、皆様より色々なお声を頂きたく、今後ともよろしく願います。



<鷹尾治久後援会役員>

会長：西本裕行 副会長：北野光昭 松谷敏道 荒田修 松野憲児 幹事：吉田淳二 会計：松森翔平 監査：和住真宏

日常お困りの市政相談は、お気軽にお電話ください。連絡所／TEL.079-445-2395（カネカ労働組合高砂支部内）